

平成30年度 自己評価書

学校名	和歌山市立和佐小学校
校長氏名	塩谷 通功
作成日	平成31年(2019年)2月20日

1 教育目標

『心身ともに健康で、人間性豊かな実践力のある子どもを育てる』

2 本年度の取組についての評価

	地域とともにある学校	ゆたかな心	確かな学力
指標	<ul style="list-style-type: none"> 学校の様子がよく伝わった(保護者85%以上) 学校運営協議会による学校評価(学校運営等に関する評価書) 	<ul style="list-style-type: none"> 「みんなの道徳」「心のとびら」の活用(100%) 学校アンケート「私は学校が楽しい」(児童80%) 児童の変容(交流後の感想等) 	<ul style="list-style-type: none"> 全国学調、県到達度等において、全国及び県平均と同等になる 学校アンケート「学校はよくわかる授業を工夫している」(児童・保護者90%)
重点目標【P】	<ol style="list-style-type: none"> 学校の情報提供(便り、HP) 地域の教育力の活用 <ul style="list-style-type: none"> 地域先達との連携・協働の推進 学校評価 <ul style="list-style-type: none"> 地域の情報や課題を共有し、地域とともに教育活動を進める 	<ol style="list-style-type: none"> 教育活動全般を通して、人権意識の向上を図る 生活指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の定着、人権意識の向上 いじめなくそうデー 地域の福祉施設との連携 	<ol style="list-style-type: none"> 確かな学力の向上 <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着 学習習慣の定着 授業改善に取り組む <ul style="list-style-type: none"> 主体的に取り組むとともに、自己表現できる子の育成 よくわかる授業づくり
取組の状況【D】	<ol style="list-style-type: none"> 毎月の学校だより、学年通信、保健便り等の発行 地域先達との協働連携事業指定により、5・6年生の体験授業やクラブ活動等で実施 学校運営協議会を通じ、学校運営について協議を行った。 	<ol style="list-style-type: none"> 生命尊重、人権意識の向上を図るため、地域の福祉施設や幼稚園等の交流に取り組んだ。 いじめなくそうデー(児童アンケート)から見えた事象について、迅速に対応し解決を図った。 	<ol style="list-style-type: none"> 朝学タイム、和佐タイム、スキルアップ等補充学習に取り組んだ。 図書館を休み時間に開放したり、読み聞かせに取り組んだ。 学力定着フォローアップ事業を活用し、若手を中心に授業改善に取り組んだ。
取組の成果と課題【C】(評価結果)	<ol style="list-style-type: none"> 保護者アンケート「学校の様子がよく伝わった」は、62.9%であった。情報提供については、新たに回覧板を活用するなど、学校の様子について、地域への情報発信にも努めた。 地域先達事業を活用し、子供達が地域を知る機会につなげることができた。将来的に人材確保が課題になるのではないかと。 学校運営協議会を通して、学校、地域の課題を共有し協議することができた。 	<ol style="list-style-type: none"> 学校アンケート結果において、89.6%の児童が、学校が楽しいと答えたが、10.4%の児童がそう思わないと回答した。アンケートや児童の日々の様子をさらに注意深く見守るとともに、迅速な対応をする必要がある。 	<ol style="list-style-type: none"> 学力調査等の結果では、基礎学力や自分の考えを書くことに課題が見られた。 主体的に自分の考えを持ち、相手に伝える力を育む授業を進める。 学校アンケート「学校はよくわかる授業を工夫している」の項目で、児童78.9%、保護者75.6%が「そう思う」と回答している。目標をクリアできるよう授業改善が必要である。
改善方法【A】(次年度に向けての)	<ol style="list-style-type: none"> 地域とともにある学校をめざし、学校運営協議会の充実に努める。(教職員、保護者、児童、地域) 地域の教育力の掘り起こしを行い、教育活動の充実を図る。 情報発信については、紙媒体に加え、HPの充実を図る必要がある。 	<ol style="list-style-type: none"> アンケート等による実態把握に努めるとともに、課題が見られた場合には迅速に対応する。 地域の福祉施設との交流など児童が主体的に学ぶ機会とし、児童の心の成長につなげる。 児童の道徳性を育むために授業改善を図る。 	<ol style="list-style-type: none"> 学力向上に係るこれまでの取り組みを精査し、児童の学力向上のために改善を図る。(年度末反省を踏まえて) 「主体的・対話的で深い学び」をキーワードに、授業づくりに取り組む。

3 その他の課題

・平成31年度から外国語科・外国語活動が正式に導入されるなかで、授業時数確保のため、クラブ・委員会活動の時数を縮減する必要がでてきている。地域先達との連携事業においては、地域人材の有効活用の点で、今後課題が残る。
 ・災害時の緊急車両通行においては、今だ課題が残る。引き続き、連合自治会長と連携し対応の検討が必要である。